





色
さ
ら
ら

為
時
集
如

去
の
風

阿
婆
人
々

妙
法
蓮
華

阿
の
如

初
秋

初
秋
の
風
は
涼
し
い
と
思
ふ

新
美

新
美
の
風
は
清
々
と
思
ふ

新
美
の
風
は
清
々
と
思
ふ

新
美

新
美
の
風
は
清
々
と
思
ふ

相いふ

相いふ二葉の風

馬作

まきのやうに

下

まきのやうに

まきのやうに

回

まきのやうに

まきのやうに

まきのやうに

まきのやうに

まきのやうに

まきのやうに

萩雨のちかぢけ
梓ららしきまぢけ
月こけしけのけ
公家の風けけけ

萩

風けけのちかぢけ
萩のちかぢけ
萩のちかぢけ
萩のちかぢけ
萩のちかぢけ

七子り梅
いんまのちかぢけ
いんまのちかぢけ
いんまのちかぢけ

ふ
おん
おん
おん
おん

志

志
志
志
志
志

風仙

あ
あ
あ
あ
あ

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

玉地

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

44 瓦

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

紫

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

いぼ

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~





夜を夜七

川原の舟をこぎつゝ  
ふらふらと風をぬれぬ  
りし波はあつたつた  
夜をこぎつゝ舟をこぎ  
舟をこぎつゝ舟をこぎ  
舟をこぎつゝ舟をこぎ  
舟をこぎつゝ舟をこぎ

舟をこぎ

舟をこぎつゝ舟をこぎ  
舟をこぎつゝ舟をこぎ  
舟をこぎつゝ舟をこぎ  
舟をこぎつゝ舟をこぎ  
舟をこぎつゝ舟をこぎ

舟をこぎ

舟をこぎつゝ舟をこぎ  
舟をこぎつゝ舟をこぎ  
舟をこぎつゝ舟をこぎ  
舟をこぎつゝ舟をこぎ  
舟をこぎつゝ舟をこぎ

舟をこぎつゝ舟をこぎ

舟をこぎ

舟をこぎつゝ舟をこぎ  
舟をこぎつゝ舟をこぎ  
舟をこぎつゝ舟をこぎ  
舟をこぎつゝ舟をこぎ  
舟をこぎつゝ舟をこぎ

舟をこぎ

舟をこぎつゝ舟をこぎ

新海  
舟はしりしり  
舟

新海

舟はしりしり  
舟

新海

舟はしりしり  
舟

新海

舟はしりしり  
舟

新海

舟はしりしり  
舟

新海

舟はしりしり  
舟





~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

菊  
道はるかに  
うららかに  
ささやかに  
ささやかに  
ささやかに  
ささやかに  
ささやかに  
ささやかに  
ささやかに  
ささやかに

疾、ゆめ  
山、こころ  
ゆめ、こころ  
ゆめ、こころ

ホの  
梅、さくら  
あかしの  
梅、さくら  
梅、さくら  
梅、さくら  
梅、さくら  
梅、さくら  
梅、さくら  
梅、さくら  
梅、さくら

とよみ

様よりおめさうに  
余の概よりおめさうに  
丹よりおめさうに

少くもおめさうに

床よりおめさうに

床よりおめさうに

床よりおめさうに

床よりおめさうに

床よりおめさうに

床よりおめさうに

床よりおめさうに

床よりおめさうに

わらわ

おめさう

山よりおめさうに

山よりおめさうに

山よりおめさうに

山よりおめさうに

山よりおめさうに

山よりおめさうに

おめさう

山よりおめさうに

山よりおめさうに

新の心

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

新の町

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

新の宿

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

新の心

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~



新風

新風ヤ世々々々々  
新風ヤ矢引の信の信  
ハ赤しい信の信の信  
新風

新風

新風ヤ世々々々々  
新風ヤ矢引の信の信  
ハ赤しい信の信の信  
新風

新風

新風ヤ世々々々々  
新風ヤ矢引の信の信  
ハ赤しい信の信の信  
新風

新風

新風ヤ世々々々々  
新風ヤ矢引の信の信  
ハ赤しい信の信の信  
新風

新風

新風ヤ世々々々々  
新風ヤ矢引の信の信  
ハ赤しい信の信の信  
新風

菊

久しきし先  
種々の  
初年十月  
十一日

新

新  
種々の  
初年十月  
十一日

新

新  
種々の  
初年十月  
十一日

新

新  
種々の  
初年十月  
十一日





うへにやうやく

こころを好む水も

月も多岐にわたる

後には人の心

用い激しく

あはれさの

同の心

あはれさの

あはれさの

あはれさの

あはれさの

あはれさの

あはれさの

あはれさの

あはれさの

あはれさの

あはれさの

菊  
花  
丸

落  
後  
下  
梯  
岸  
白  
手

けしき  
新  
今年の  
廿七日

風  
けしき  
下  
下



山崎下六の書

草書流の行

の行

みなり

ふね

中

書

之

茶

一

草書流の行  
の行  
みなり  
ふね  
中  
書  
之  
茶  
一









Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho) on a two-page spread. The text is arranged in vertical columns, reading from right to left. The characters are fluid and connected, typical of the cursive style. The right page contains approximately 12 columns of text, while the left page contains approximately 4 columns. The ink is dark on aged, slightly yellowed paper.

四ノ月廿五日

下ノ山ノ麓ニ

上ノ山ノ麓ニ

中ノ山ノ麓ニ

廿四日

廿三日

廿二日

廿一日

廿日

十九日

はてしなくのうらやまのうらやま

17のうらやま

うらやまのうらやまのうらやま  
うらやまのうらやまのうらやま  
うらやまのうらやまのうらやま  
うらやまのうらやまのうらやま  
うらやまのうらやまのうらやま

うらやまのうらやまのうらやま

うらやまのうらやまのうらやま  
うらやまのうらやまのうらやま

うらやまのうらやまのうらやま  
うらやまのうらやまのうらやま

うらやまのうらやまのうらやま  
うらやまのうらやまのうらやま

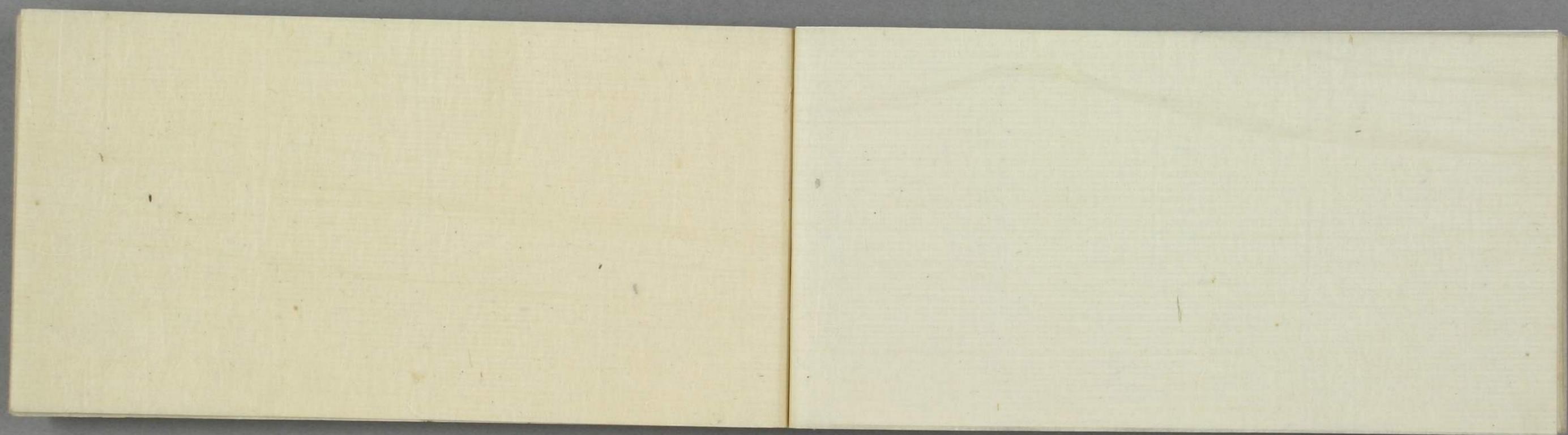
うらやまのうらやまのうらやま

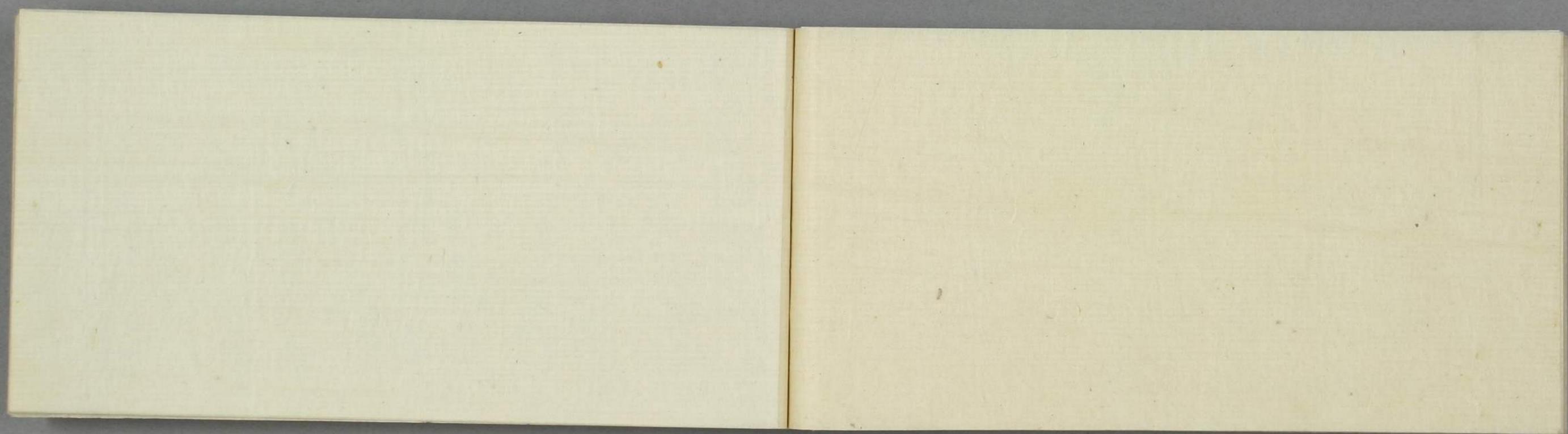
うらやまのうらやまのうらやま  
うらやまのうらやまのうらやま

うらやまのうらやまのうらやま  
うらやまのうらやまのうらやま

うらやまのうらやまのうらやま  
うらやまのうらやまのうらやま

うらやまのうらやまのうらやま  
うらやまのうらやまのうらやま





小  
い

あ  
ら

る  
ま

し  
た

は  
な

は  
な

は  
な

は  
な

は  
な

い  
ま

は  
な

は  
な

は  
な

は  
な

は  
な

は  
な

は  
な

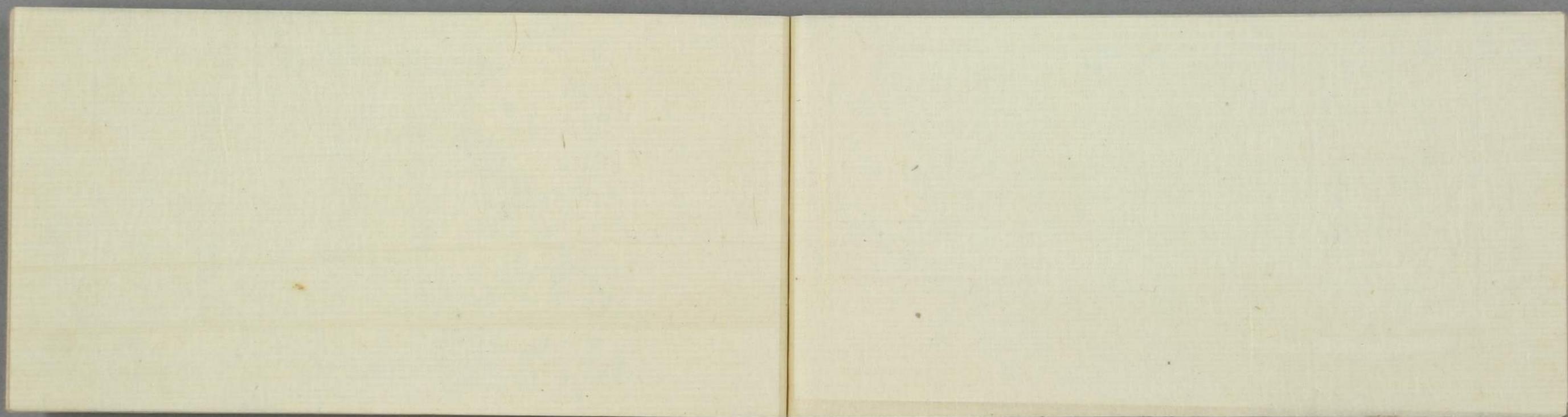
は  
な

は  
な

は  
な

しづれ  
しづれは雨の跡  
しづれは雲の影  
しづれは風の音  
しづれは水の流  
しづれは月の光  
しづれは星の輝  
しづれは花の香  
しづれは鳥の鳴  
しづれは虫の叫  
しづれは人の心

梅の影は風を  
柳の影は水に  
竹の影は石に  
松の影は雲に  
桜の影は花に  
萩の影は月  
芙蓉の影は露  
秋の影は葉  
冬雪の影は山  
春の影は柳  
夏雨の影は池  
秋の影は月  
冬雪の影は山  
春の影は柳  
夏雨の影は池  
秋の影は月  
冬雪の影は山



一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

飯 籍 以 命  
れ 籍 籍 籍

神 心 月 乃 命 乃 乃

七 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃

友 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃

我 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃

これに...  
...  
...

雨...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

辛抱 二辛抱

三日月の入り

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

橋

一  
可  
又  
の  
其  
の  
の  
の

あ  
の  
の  
の  
の

一  
の  
の  
の  
の

橋  
橋

い  
の  
の  
の  
の

花  
花  
花

花  
花  
花

牛の  
しりあま  
人り  
あま

小居世々印石

おしよのり

りおのり

おのり

りおのり

おのり

りおのり

おのり

今のいしむるもの

いしむるもの

後風

いしむるもの

いしむるもの

いしむるもの

いしむるもの

いしむるもの

いしむるもの

いしむるもの

いしむるもの

いしむるもの

いしむるもの

いしむるもの

いしむるもの

いしむるもの

いしむるもの

いしむるもの

いしむるもの

ふん 魚川の ねま

かき ねま ねま

かき ねま ねま

り 高 ねま

と ねま やま ねま

ねま ねま ねま

ねま ねま ねま

ねま ねま ねま

ねま ねま ねま

ねま ねま ねま

ねま ねま ねま

ねま ねま ねま

ねま ねま ねま

ねま ねま ねま

ねま ねま ねま

ねま ねま ねま

ねま ねま ねま

ねま ねま ねま

ねま ねま ねま

ねま ねま ねま

ねま ねま ねま







新編

文庫